



水稻(害虫)編



病虫害注意報
2018年6月作成

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

斑点米カメムシ

カメムシは様々な場所に潜んでいます。被害を最小限にするために、生息場所を減らすための除草と、薬剤の防除を組合わせて行いましょう！

【カメムシの主な生息場所と対策】

①畦畔雑草(特にイネ科)



◆ 畦畔除草のポイント ◆

- ①草刈機：出穂14日前までに終わらせておく
- ②除草剤：出穂3～4週間前までに散布
バスタ液剤（収穫7日前・2回以内）

②水田内に残った“ヒエ”



◆ 残りヒエ除草 ◆

- ・ヒエのみ：クリンチャーEW（収穫30日前・2回以内）
- ・ヒエ+広葉：
ワイドアタックSC（収穫30日前・2回以内）
又は
クリンチャーバスマE液剤（収穫50日前・2回以内）
クリンチャーEWとクリンチャーバスマE液剤は合わせて3回以内



カメムシの薬剤防除は…

吸汁阻害効果が期待できる

粒剤がおススメ！！

薬剤防除時期

出穂

穂揃期

傾穂期

成熟期 収穫

キラップ粒剤

3kg/10a 湛水散布
 収穫14日前まで/2回以内
 適用害虫：カメムシ類・ウカ類
 ※効き始めが遅く残効が長いため、
 出穂10日前～出穂期が散布適期です。

又は

アルバリン粒剤

3kg/10a 散布 収穫7日前まで/3回以内
 適用害虫：カメムシ類・イネトロイムシ・ウカ類・ニカメイチュウ・ツマグロコバイ
 ※成分吸収が早いので、出穂後7日前後（穂揃期～傾穂期）が散布適期です。

注) 止水した湛水状態で散布し、7日間は落水・かけ流しはしないこと。

薬剤名	使用倍率	収穫前日数	使用回数	適用害虫
ダントツ水溶剤	4,000倍	7日前	3回以内	カメムシ類・ウカ類・イネトロイムシ・ツマグロコバイ
トレボン乳剤	1,000～2,000倍	14日前	3回以内	(2,000倍)カメムシ類・イネミスズムシ (1,000倍)コブノメカガ (1000～2000倍)イナゴ類・ウカ類・イネトロイムシ・ツマグロコバイ

★粒剤を防除の軸として使用し、液剤はカメムシの発生が見られた場合に散布してください。

★刈取りが遅れる場合は再度薬剤の散布を行い、収穫まで効果が続くようにしましょう！但し、収穫前日数にはご注意ください。